

日本選挙学会 2001年度第2回理事会議事録

日 時：9月22日(土) 午後3時00分～
場 所：東京大学法学部4号館8F会議室

議 題：

(前回議事録の回覧)

1. 各委員会の活動状況について(各委員長)

企画委員会(配布資料参照)

砂田企画委員長から、公募の結果について以下のような報告があった。

- ・公募に対する応募は10件あり、すべて採択したこと。
- ・採択した10件中4件は各分科会における報告とし、残りの6件については副題を付した自由論題とし、これを2つ設けること。
- ・上記とは別に分科会に関する提案が1件あったが、この採択について理事会に諮問があった。
- ・企画自体の提案は募集規定に反するものではなく、有意な企画と認められるので、採用することとした。なお、この企画案は司会者・報告者・討論者すべての担当者の名前を挙げての提案であったが、司会・討論者についてはパネル参加者間の馴れ合いを防ぐために企画委員会が改めて、検討することとした。
- ・また報告者中に非会員を含むような提案に対しては、今後入会を促すこととした。

年報編集委員会

- ・川人編集委員長から、投稿論文を現在審査中であることなど、年報17号の編集作業について報告があった。

文献委員会

- ・和田文献委員から6月付けで文献目録を発送したことが報告された。
- ・懸案のコードについては次回理事会にて検討することとした。

選挙管理委員会

中邨選挙管理委員長から本年の理事選挙に関し、以下の報告があった。

- ・選挙人・被選挙人の数は275名であり、前回の307名と比較すると減少したこと。
- ・10月2日から投票用紙を発送すること。
- ・理事選挙に関する説明書の一部の文言(配布資料参照)を修正したこと。理事会において提案事項を検討した結果、さらに一部修正した後、修正を承認した。

旧	10月10日	新	10月1日(発送日の変更)
	基づいて		もとづいて
	違背		違反

旧 「8名連記の無記名投票です。8名未満は有効ですが、8名を超えて連記した投票は投票全部が無効となります。また、投票用紙を切り離したのも無効となりますので、ミシン目はそのままにして、選挙管理委員会の印を付して投票して下さい。」

新 「8名連記の無記名投票ですが、7名以下でも有効です。9名以上を連記した投票は無効となります。また、投票用紙を切り離したのも無効です。用紙をバラバラにせず、選挙管理委員会の印を付した用紙を含めて切り離

さず投票して下さい。」

・またさらなる必要な修正については、選挙管理委員会に一任することとした。

2. 2001年度総会・研究会の総括について（前大会運営委員長）

- ・神江前大会運営委員長から、御礼と収支等について報告があった。
- ・収支は懇親会の会費も含め約120万円であり、赤字は出なかったことが報告された。

3. 2002年度総会・研究会の開催について（新大会運営委員長）

- ・新大会運営委員長の蒲島理事長から、会場（配布資料参照）の確保など、準備状況について報告があった。

4. 入会申し込み者・退会希望者の承認について

- ・以下の6名の入会を承認した。
石川寛、小田敏三、桑原望、カソ・E・コックス、笹島智子、星浩
- ・以下の2名の自己都合による退会を承認した。
飽戸弘、坂本隆幸
- ・以下の1名の休会を承認した。
池谷知明（留学のため）
- ・上記の異動により、会員数は499名（うち法人会員1社、休会5名含む）となった。

5. 日本学術会議関係

平成13年度代表派遣について

- ・芹澤学術会議会員から、視察した国際政治心理学会についての報告があった。

6. その他

『ニュース・レター』第24号について

- ・12月20日前後の発行に向けて、準備作業に入ったことが報告された。
- 会費の納入状況について

その他

- ・石高幹事が留学のため、以下の2会員を幹事補佐とすることを承認した。
今井亮祐（東京大学）、中條美和（東京大学）

以上

出席者）蒲島理事長、浅野、岩崎、川戸、川人、神江、小林、砂田、谷、中邨、和田の各理事、及び河野事務局長、石高、河崎、の各幹事、芹澤学術会議会員。